

小鹿野中学校第一体育館空調設備 設計図

図 面 リ ス ト								
意 匠 図			電 気 設 備 図			機 械 設 備 図		
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
A－0 1	特記仕様書（改修その１）	no scale	E－0 1	電気設備工事特記仕様書（１）	no scale	M－0 1	機械設備工事特記仕様書（１）	no scale
A－0 2	特記仕様書（改修その2）	no scale	E－0 2	電気設備工事特記仕様書（２）	no scale	M－0 2	機械設備工事特記仕様書（２）	no scale
A－0 3	特記仕様書（改修その3）	no scale	E－0 3	空調電源設備 1階平面図	1/100	M－0 3	空気調和設備 機器表・凡例・参考図	no scale
A－0 4	特記仕様書（改修その4）	no scale	E－0 4	受変電設備図・盤結線図	no scale	M－0 4	空気調和設備 1階平面図	1/100
A－0 5	特記仕様書（改修その5）	no scale				M－0 5	空気調和設備 展開参考図（１）	1/50
A－0 6	案内図・配置図	1/300				M－0 6	空気調和設備 展開参考図（２）	1/50
A－0 7	仮設計画図(案)	1/300				M－0 7	二次側配線設備 計装図	no scale
A－0 8	1階平面図〔現況〕	1/100				M－0 8	二次側配線設備 1階平面図	1/100
A－0 9	1階平面図（仮設計画図）【改修後】	1/100				M－0 9	空気調和設備 防球ガード参考図	no scale
A－1 0	2階平面図〔現況〕	1/100						
A－1 1	矩計図〔現況〕⇒【改修後】	1/50						
A－1 2	アリーナ展開図〔現況〕	1/50						
A－1 3	アリーナ展開図【改修後】	1/50						
A－1 4	1階天井伏図〔現況〕⇒【改修後】	1/100						
A－1 5	空調屋外機基礎・フェンス詳細図	1/20						

[illegible]

8 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板

厚さ(mm)

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

※5.5

※1類・2類

広葉樹※2等以上・1等針葉樹※C-D以上

・適用する・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所

等級

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

厚さ(mm)

防虫処理

強度等級

間伐材等の適用

※2級以上・1級

※1類・特類

※C-D以上

※12

・適用する・適用しない

・適用する()・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧び構造用合板

施工箇所

厚さ(mm)

単板の樹種名

接着の程度

防虫処理

間伐材等の適用

・特類・1類

・適用する・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所

化粧板に使用する単板の樹種名

厚さ(mm)

接着の程度

防虫処理の適用

・1類・2類

・適用する・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所

厚さ(mm)

接着の程度

単板の樹種名

化粧加工の方法

防虫処理の適用

・1類・2類

・適用する・適用しない

・

・パーティクルボード

施工箇所

表裏面の状態による区分

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

難燃性による区分

厚さ(mm)

※13タイプ

※P又はM

※15

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所

寸法(mm)

・MDF

施工箇所

厚さ(mm)

表裏面の状態による区分

曲げ強さによる区分

接着剤による区分

難燃性による区分

9 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち・釘頭現し木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1(F種程度) 材質：)
(形状：)

6.5.3

10 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆

6.5.3、4

11 防蟻・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防蟻、防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分
・K2・K3・K4

6.5.5

・薬剤の塗布等による防蟻、防蟻処理
適用部材 処理の方法 薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品

6.5.6

・薬剤の接着剤への混入による防蟻、防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ()

6.5.7

12 内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松

6.5.6

13 窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
吊元材、水掛りの下枠及び取付 窓ひきその他
※松又は杉

6.5.7

14 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示
周辺部の端からの間隔 図示
野縁の間隔 図示
既存の埋込みインサート 使用する・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ()箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示
・天井のふところ及び3.0mを超える場合の補強方法 図示
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示
補強方法 図示

6.6.2～4

15 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 図示
スタッドの高さが5mmを超える場合 図示
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[表6.7.4] (5)による

6.7.3、4[表6.7.1]

16 ビニル床シート

6.8.2、3

17 ビニル床タイル

種類の記号

色柄

寸法(mm)

厚さ(mm)

備考

※F(S(複層ビニル床タイル))
・無地・柄物
・※2.0
・※2.0

接合部の処理 ※熱溶接工法

6.8.2

種類の記号

色柄

寸法(mm)

厚さ(mm)

備考

※KT(コボ「ジッパ」ニル床タイル)
・無地・柄物
・300×300・450×450
・※2.0
・3.0

・TT(単層ビニル床タイル)
・無地・柄物
・300×300・450×450
・2.0
・2.5
・3.0

・FT(複層ビニル床タイル)
・無地・柄物
・300×300・450×450
・2.0
・2.5
・3.0

・FOA(置き敷きビニル床タイル)
・無地・柄物
・500×500
・4.0

・FOB(薄型置き敷きビニル床タイル)
・無地・柄物
・

18 特殊機能床材

・帯電防止床シート
種類 () 性能 () 厚さ(mm) ()
・帯電防止床タイル
種類 () 性能 () 寸法(mm) (×) 厚さ(mm) ()
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 () 形状 ()
・耐動荷重性床シート
種類 () 厚さ(mm) ()
・防滑性床シート
種類 () 厚さ(mm) ()
・防滑性床タイル
種類 () 寸法(mm) (×) 厚さ(mm) ()

6.8.2

19 ビニル幅木

材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による)
高さ(mm) ※60・75・100
厚さ(mm) ※1.5以上

6.8.2

20 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ(mm) ・3.0・4.5・6.0・9.0
寸法(mm) () × ()

6.8.2

21 カーペット敷き

・織じゅうたん

6.9.2、3[表6.9.1]

織り方

バイル形状

・ウィルトンカーペット
・ダブルフェースカーペット
・アキスミンスターカーペット
・カットバイル
・ループバイル
・カット/ループ併用

・色柄 ※模様のない無地
・バイル系の織種等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)
・帯電性 ・適用する ・適用しない
・織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
・下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

タフテッドカーペット

バイル形状

寸法

工法

帯電性

備考

・カットバイル
・ループバイル
・カット、ループ併用

・5～7
・4～6
・全面接着工法・適用する
・「グリップ」工法・適用しない

下敷き材(グリップ工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

・タイルカーペット
バイル形状 種 別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考
※ループバイル
・第一種
・第二種
・カットバイル
・第一種
・第二種
・カット、ループ併用
・第一種
・第二種

※500×500
※500×500
※500×500
※6.5
※6.5
※6.5

※6.5

22 合成樹脂塗床

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き
見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 (※図示)

6.10.2、3

種類

施工箇所

工法

仕上げの種類

・厚膜型塗床材 (弾性かつ樹脂系塗床)
・厚膜型塗床材 (1.5μ樹脂系塗床)
・薄膜型塗床材 (1.5μ樹脂系塗床)

※平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・薄膜流しのべ工法
・厚膜流しのべ工法
・樹脂もみり工法

※平滑仕上げ

・フィルム樹脂塗床 (防塵塗料塗し)
※製造所の指定による

表面仕上げ ※平滑
溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

23 フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆
単層フローリング (フローリングボード1等)
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら
間伐材等の適用 ・する ・しない
単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
厚さ(mm)
大きさ
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら
種類 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

6.11.2～6

24 量敷き

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表： ・C1 ・C2)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2) (4)の(a)～(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
木モセメント板
種 類 厚さ(mm)、規格等
・硬質(HH)
・中質(MH)
・普通(NH)

6.12.2

6.13.2、3

25 せっこうボード
その他のボード張り

種 類 厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2 (無石綿) 6・8
・化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2 (無石綿) 6・8
表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け

6.12.2

26 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

6.14.2、3

施工箇所

紙

織物

装飾工

防汚

無機質その他

防火種別

備考

・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃
・不燃・準不燃・難燃

27 モルタル塗り

モルタル ・現場調査材料 ・既調査材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)
床目地 ・設けない 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)
・設けない ※押し目地
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による
伸縮調整目地の位置
床タイル (※縦、横とも4m以内ごと 図示)
床タイル以外 (・図示)
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改訂仕様書第3章による
試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない
見本焼き ・行う (施工箇所：) ・行わない
・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状・寸法等
施工箇所 種類 形状/寸法 再生材料の 断面積の区分 形状/寸法 役物 色 耐震性能 耐汚性 備考
(mm) 適用 I 類 II 類 III 類 Ⅳ 類 Ⅴ 類 有 無 標準 特注 有 無 有 無 有 無

6.15.3、5、6

6.16.2～4

28 タイル張り

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調査モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調査目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状・寸法等
施工箇所 種類 形状/寸法 再生材料の 断面積の区分 形状/寸法 役物 色 耐震性能 耐汚性 備考
(mm) 適用 I 類 II 類 III 類 Ⅳ 類 Ⅴ 類 有 無 標準 特注 有 無 有 無

6.16.2～4

29 セルフレベリング材
塗り

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤類の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
塗厚(mm) 図示

6.17.2、3

30 フリーアクセス
フロア

フリーアクセスフロアフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)～(d)による
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2) (a) (a)～(c)による
以下による
パネルの長さの寸法精度 ()
パネルの平面形状(角度)の寸法精度 ()
フリーアクセスフロアの長さの寸法精度 ()
帯電防止性能
・評価値 (U) ※0.6以上
・評価値 (U) ※1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ※1×10⁶ Ω

20.2.2

31 可動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆

20.2.3

構造形式

構成基材の種類

パネル表面仕上げ

遮音性 (db/500Hz)

防火性能

・スライド式 (内蔵)
・スライド式 (露出)
・パネル式
・スタッドパネル式

・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付
・壁紙張り

・0
・12
・20
・28
・36

・不燃

32 移動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

20.2.4

構造形式

操作方法

圧接装置の操作方法

総厚さ (mm)

パネル表面材 材質 仕上げ

遮音性 (db/500Hz)

・平行方向移動式
・二方向移動式

・手動式
・電動式
・部分電動式

・フッシュ式
・ハンドル式
・

・鋼板
・焼付塗装
・壁紙張り
・36未満
・36以上

33 トイレブース

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に對して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に對して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
表面材の種類 脚部種類 ドアエッジの材質 ドアエッジの形状
・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ※製造所の標準仕様 ・標準
・ポリエスチル樹脂系化粧板 アルミニウム製 ・Rタイプ
・ステンレス製
・表面材と同材

20.2.5

34 手すり

材料の種類及び仕上げ
・SUS304 表面処理 ※H程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表14.2.2による種別 (種))
・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.1による種別 (種))
色合等 ・標準色 () ・特注色 ()
手すりの握り部分
材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考
・集成材(材種：) ・カワカキ 30程度・35程度・45程度
・ドッセル心ドッセル 30程度・35程度・45程度
・樹脂被覆材 34φ

20.2.6

備考

課長

副課長

主幹

主査

担当

〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)

所長

設計本部長

設計担当

設計年度

工事名称
小鹿野小中学校体育館空調設備工事

図面名称
特記仕様書(改修その3)

縮尺

S=1/NS(A1)
S=1/NS(A3)

A-O3

[illegible]

10

鉄筋工事

①鉄筋

鉄筋の種類
(5.2.1)
種類
記号
呼び径 (mm)
備考
※D295
※D345
※D16以下
※D19以上
形状等
(5.2.2)
種類
種類記号
網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)
使用部位
溶接金網
鉄筋格子
鉄筋の継手方法等
(5.3.4)
部位
継手方法
呼び径 (mm)
柱、梁の主筋
ガス圧接
機械式継手
※D19以上
耐力壁の鉄筋
重ね継手
基礎、耐力スラブ、土圧壁
重ね継手
ガス圧接
その他の鉄筋
重ね継手
継手位置
図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)
基礎梁主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4
図示による ()
柱及び梁の重ね継手の長さ
図示による ()
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(ウ))
図示による ()
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
図示による ()
鉄筋の定着長さ
図示による ()
機械式定着工法
運用場所
図示による ()
種類
座擦圧接合
螺合グラウト固定
版合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強防形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。
最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う)
※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1)
図示による ()
柱及び梁の主筋にD29以上の使用
あり 適用箇所 ()
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等)
あり 適用箇所 ()
最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
各部配筋
※図示による (5.3.7)
7 ガス圧接
圧接完了後の圧接部の試験
外観試験
※行う (全ての圧接部)
抜取試験
※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による)
引張試験
試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による
8 機械式継手
適用箇所
図示による ()
H12建告第1463号に適合する性能
A級
種類
ねじ式鉄筋継手
充填方式
無機グラウト方式
有機グラウト方式
端部ねじ加工継手
モルタル充填式継手
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
評定等の評価内容による
試験方法
評定等の評価内容による
超音波測定試験
試験対象
抜き取り
ロット
1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
全数
試験項目 ※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置
9 溶接継手
適用箇所
図示による ()
H12建告第1463号に適合する性能
A級
溶接継手の工法
図示による ()
鉄筋相互のあき
標準仕様書5.3.5(4)による
評定等の評価内容による
図示による ()

施工完了後の溶接部の試験
外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
評定等の評価内容による
試験方法
評定等の評価内容による
超音波測定試験
試験対象
抜き取り
ロット
1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
全数
試験項目 ※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置

11

コンクリート工事

①コンクリートの種類等
(6.2.1)
※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)
※Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)
普通コンクリート
(6.2.1~6.2.4)
設計基準強度 (N/mm²)
気乾単位容積質量 (t/m³)
スランプ
適用箇所
24
2.3程度
15又は18・18
8
15又は18・18
接てコンクリート
構造体強度補正值 (S)
(6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正值 S = 3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)
S = 6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)
②セメント
(6.3.1)
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所 (※下記以外全て)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。
高炉セメントB種 図
適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む))
フライアッシュセメントB種 図
適用箇所 (・)
③骨材
(6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下)
④混和材料
(6.3.1)
混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による
混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地
(6.6.4)
打継ぎの位置
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
図示による ()
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
図示による ()
目地の寸法
(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
標準仕様書 9.7.3(1)(7)による
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
図示による ()
ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法
(6.8.1)
図示による ()
6 湿潤養生
(6.7.2)
湿潤養生の期間
セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日
⑦コンクリートの仕上り
(6.2.5)(6.8.2)
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
種 別
適用 箇所
A種 ※図示による ()
B種 ※図示による ()
C種 ※図示による ()
コンクリートの仕上りの平たんさ
種 別
適用 箇所
a種 ※図示による ()
b種 ※図示による ()
c種 ※図示による ()
8 打増し厚さ (打放し仕上げ部)
(6.8.1)
打増し厚さ
打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
20mm
打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
10mm・20mm
外装タイル後張り面の打増し処理
20mm
打増し範囲
図示による ()
⑨型枠
(6.8.2)
せき板の材料及び厚さ
合板 (※12mm・) 図
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所 図示による ()
MCR工法用シートの使用
適用箇所 図示による ()
打増し厚さ 20mm
打増し範囲 図示による ()
スリーブの材種・規格等
図示による ()
存置期間及び取外し
(6.8.4)
標準仕様書8.8.4による
普通エコセメントの場合 (※図示による ())
適用箇所
図示による ()
種類
1種・2種
気乾単位容積質量
標準仕様書 表6.10.11による
スランプ
※21cm

11 寒中コンクリート
(6.11.1、2)
適用期間 (月 日 ~ 月 日)
構造体強度補正值 (S) を積算温度を基に定める場合
図示による ()、S = ()
12 暑中コンクリート
(6.12.2)
適用期間 (月 日 ~ 月 日)
構造体強度補正值 (S)
※6N/mm² 図示による ()、S = ()
13 マスコンクリート
(6.13.1、2)
適用箇所
図示による ()
セメントの種類
普通ポルトランドセメント
中熱ポルトランドセメント
低熱ポルトランドセメント
高炉セメントB種
フライアッシュセメントB種
シリカセメント
混和材料の適用
あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による) 標準仕様書6.13.2(2)(4)による
スランプ
※15cm
構造体強度補正值 (S)
※標準仕様書表6.13.11による
14 無筋コンクリート
(6.14.1)
コンクリートの種類
※普通コンクリート
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
高炉セメントB種 図
フライアッシュセメントB種 図
設計基準強度 ※18 (N/mm²)
スランプ ※15cm又は18cm
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ()
実施要領
(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2) 単位水量の上原値は、標準仕様書6.3.2(4)(g)による。
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m³ の範囲にある場合はそのまま施工する。
2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放す。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3) 設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4) 単位水量管理についての記録を書面 (計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等) と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、174法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

【小鹿野中学校第一体育館】

備考

課長

副課長

主任

主査

担当

〔株〕新日本設計

一級建築士事務所登録 (8) 第 1 8 6 1 号
一級建築士登録 第 1 7 1 9 5 3 号 松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市御折町 3 丁目 28 番 13 号 TEL 049 (285) 1411 (代)

所 長
松崎

設計本部長
藤村

設計担当
小亀

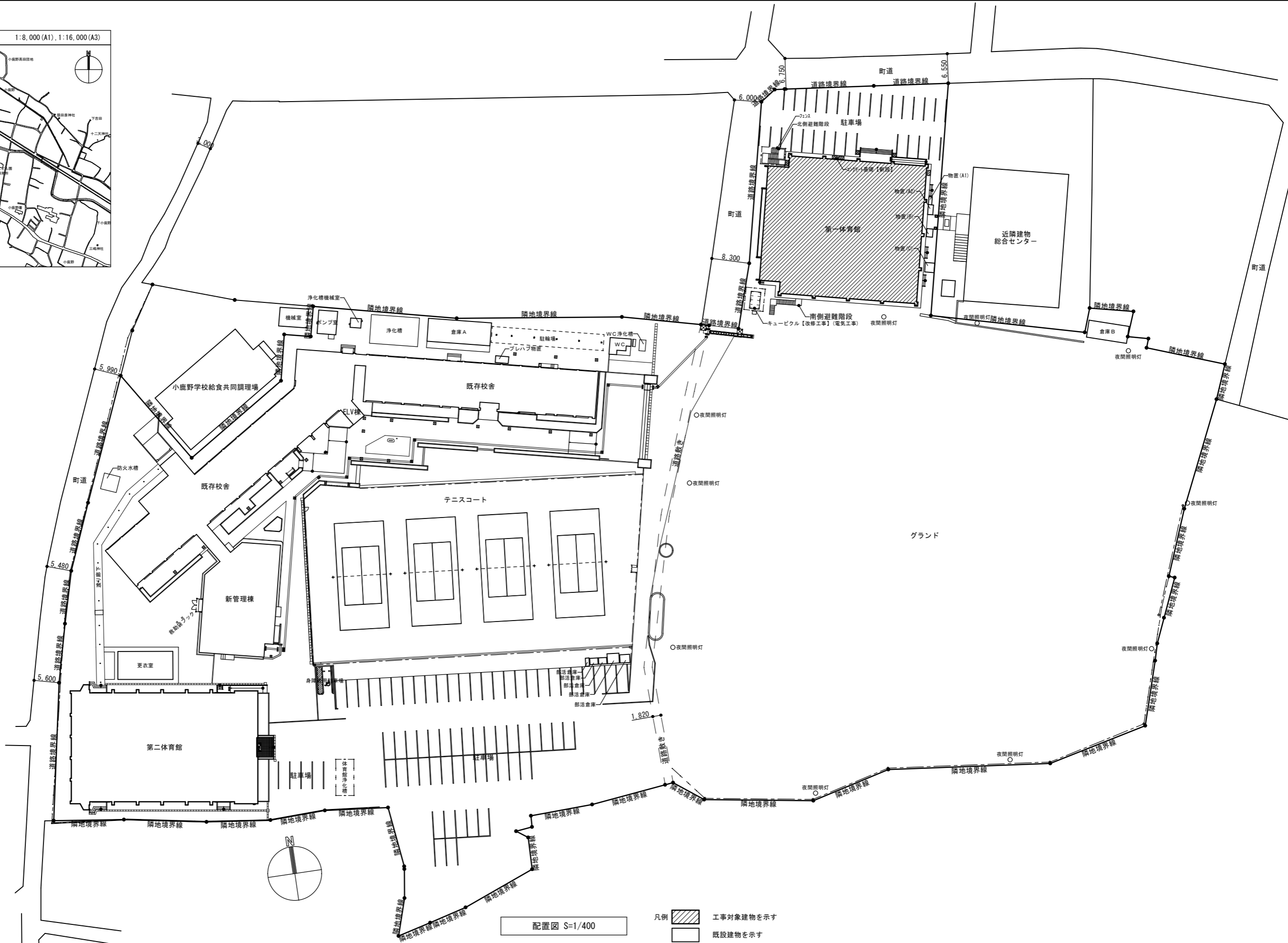
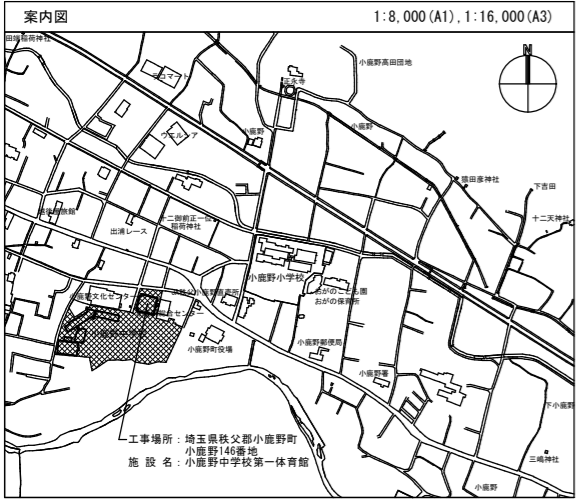
設計年度
令和7年度

工事名称
小鹿野小中学校体育館空調設備工事

図面名称
特記仕様書 (改修その5)

縮尺
S=1/NS (A1)
S=1/NS (A3)

A-05



配置図 S=1/400

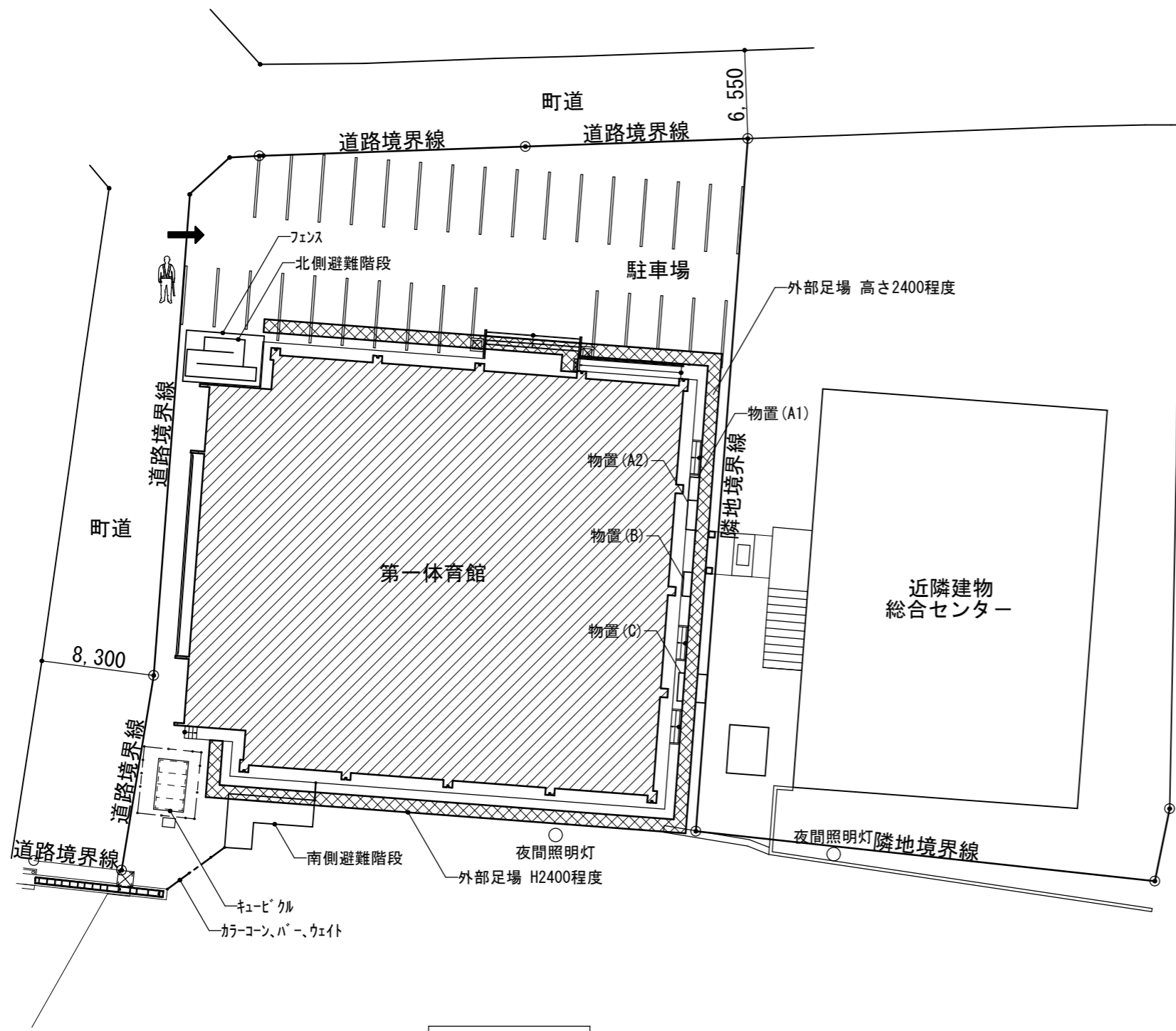
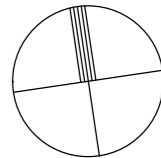
凡例
[Hatched Box] 工事対象建物を示す
[White Box] 既設建物を示す

備考										【小豆野中学校第一体育館】									
										工事名称 小豆野中学校体育館空調設備工事									
										図面番号 A-06									
										縮尺 S=1/400 (A1) S=1/800 (A3)									
										図面名称 案内図・配置図									

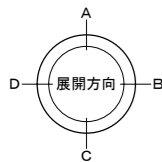
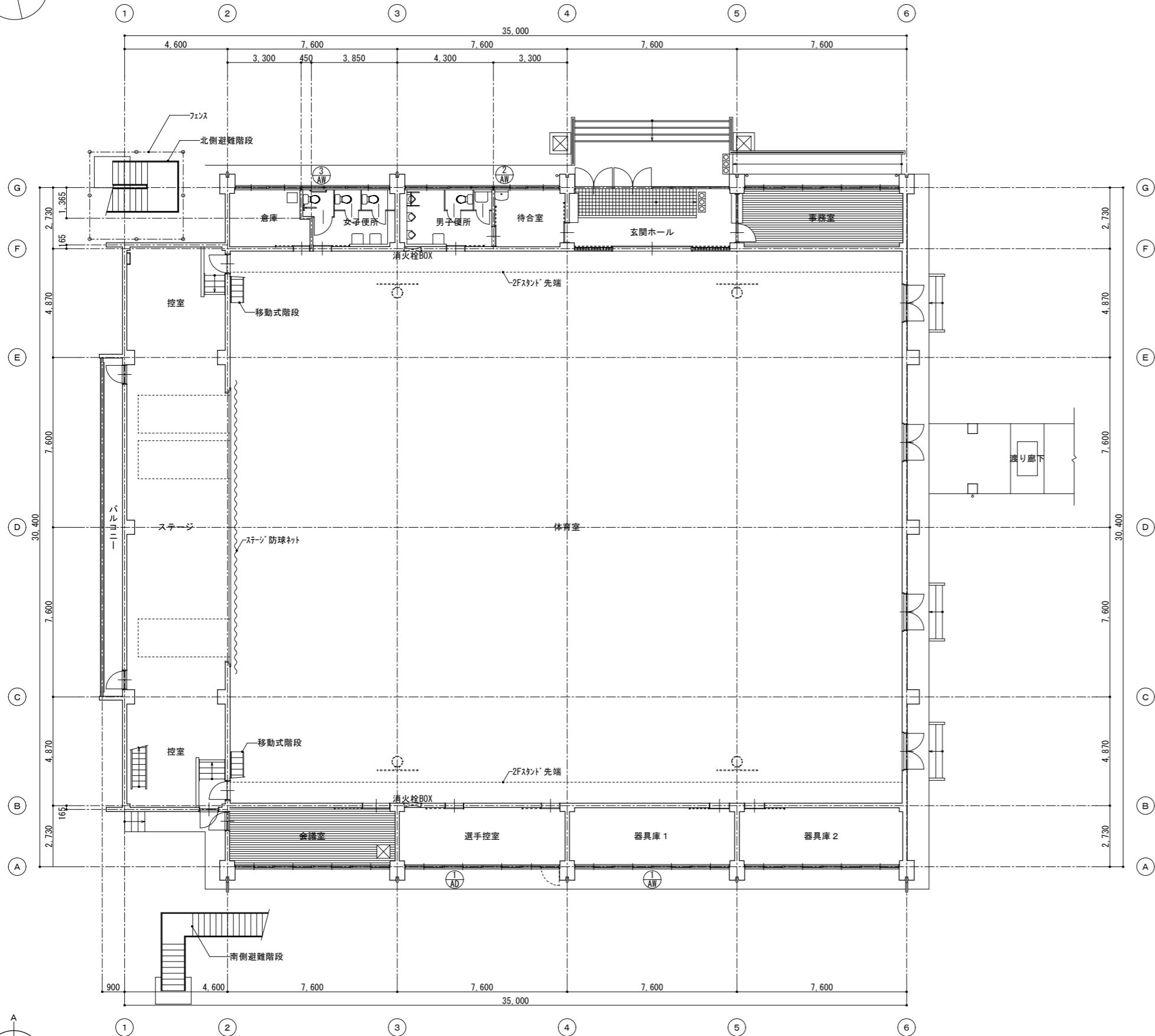
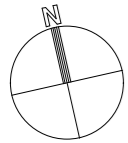


〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県越ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)

所長	設計本部長	設計担当	設計年度
松崎	藤村	小亀	令和7年度



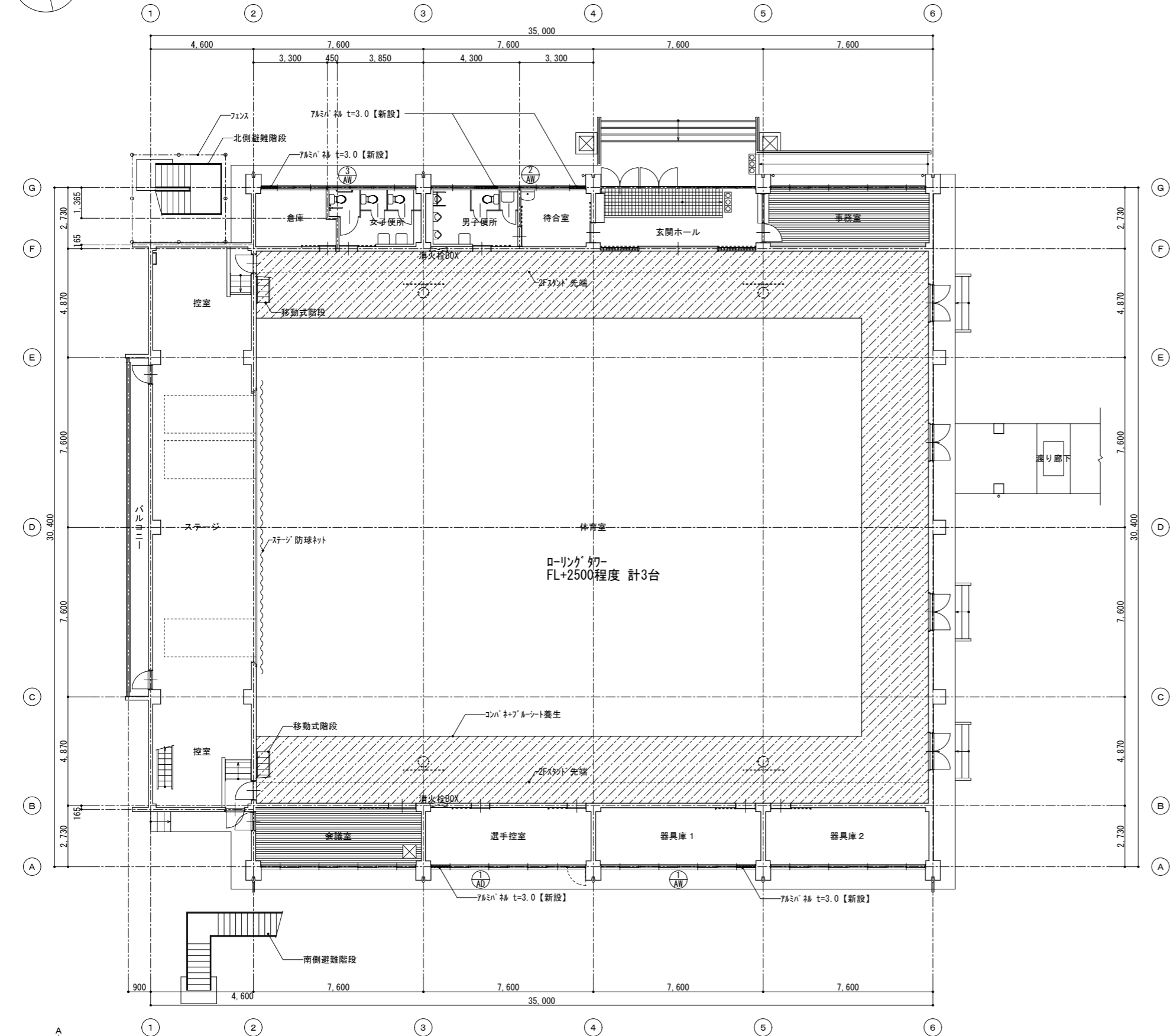
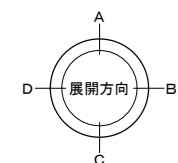
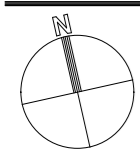
仮設計画図 S=1/100



1階平面図 [現況] S=1/100

記号・数量	① AD	引違い窓+アルミドア	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8、型板ガラス t=4.0		
金物	リソナー錠、ドアチェック、クレント、他一式		
備考	SUS下枠		
記号・数量	① AW	引違い窓	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0		
金物	クレント、他一式		
備考			
記号・数量	② AW	引違い窓+FIX	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0、透明ガラス t=3.0、アルミサッシ t=3.0		
金物	クレント、他一式		
備考			
記号・数量	③ AW	引違い窓+FIX	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0、アルミサッシ t=3.0		
金物	クレント、他一式		
備考			

建具表 [現況] S=1/50



1階平面図(仮設計計画図)【改修後】S=1/100

凡例 床養生部分：合板 t=5.5(T-1) + 建築工事用シート(JIS 2類) W=2,000~3000

※工事仮設計画及び工程計画については、工事中は開校日のこともある為、学校関係者と調整の上決定すること。かつ、学校来訪者に対しても支障をきたさないように計画すること。

記号・数量	① AD	引違い窓+アルミド7	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8、型板ガラス t=4.0		
金物	シンダー錠、ドアフェック、クレント、他一式		
備考	SUS下枠		
記号・数量	① AW	引違い窓	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0		
金物	クレント、他一式		
備考			
記号・数量	② AW	引違い窓+FIX窓	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0、透明ガラス t=3.0、アルミ 70		
金物	クレント、他一式		
備考			
記号・数量	③ AW	引違い窓+FIX窓	1
形状・寸法			
材質・見込	アルミ 70		
仕上げ	シルバー		
ガラス	型板ガラス t=4.0、アルミ 70		
金物	クレント、他一式		
備考			

建具表【改修後】S=1/50

【小鹿野中学校第一体育館】

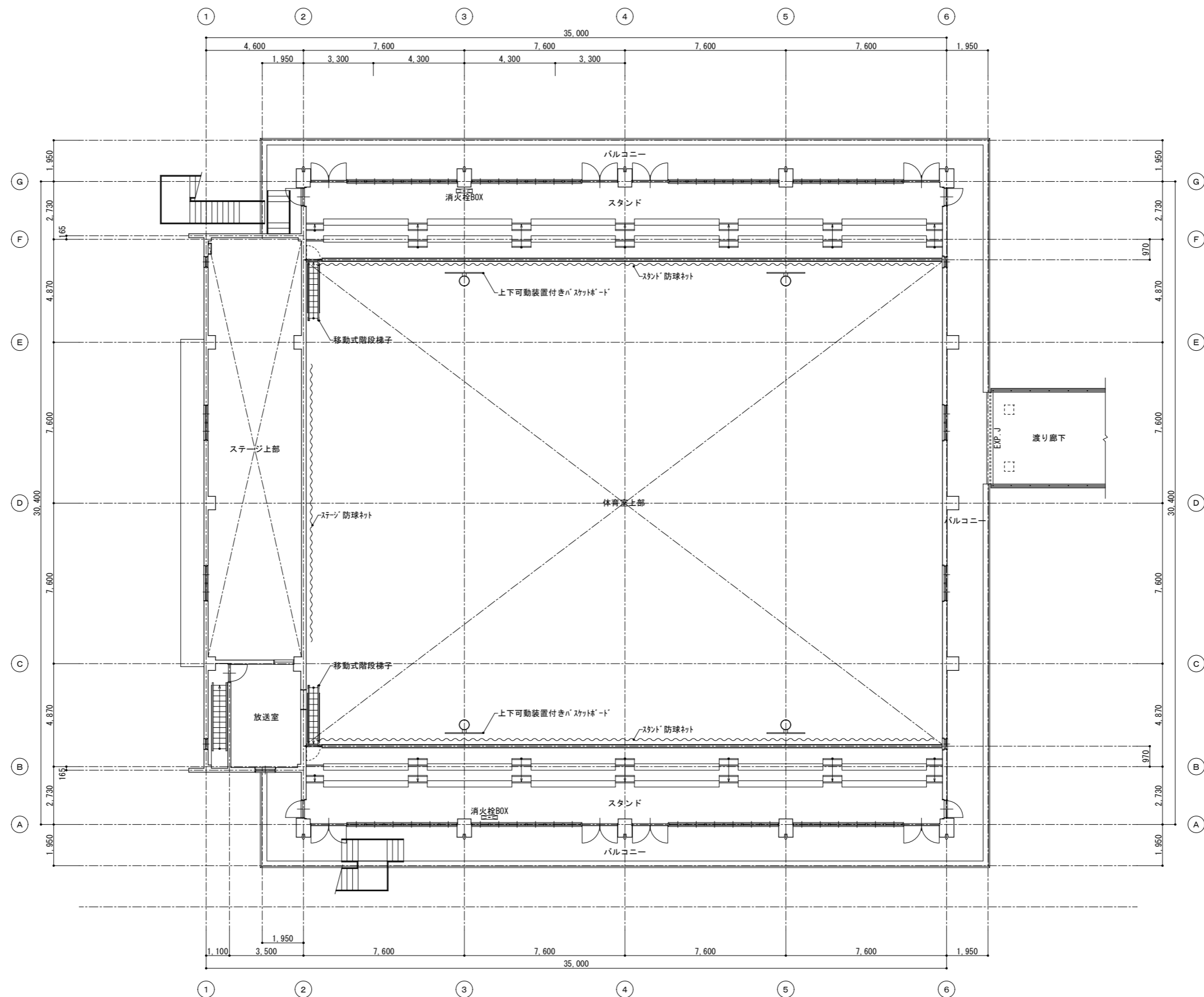
備考	課長	副課長	主幹	主査	担当	所長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号
						松崎	藤村	小亀	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	A-09
										図面名称	
										1階平面図(仮設計計画図)【改修後】	
										縮尺	S=1/100(A1) S=1/200(A3)



〔株〕新日本設計

一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)





一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号 松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)

松崎

藤村

小龜

令和7年度

図面名称	2階平面図〔現況〕
------	-----------

縮尺	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)
----	------------------------------

A-10

備考

課長	副課長		主幹	主査	担当

当	
---	--

一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号 松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)

松崎

藤村

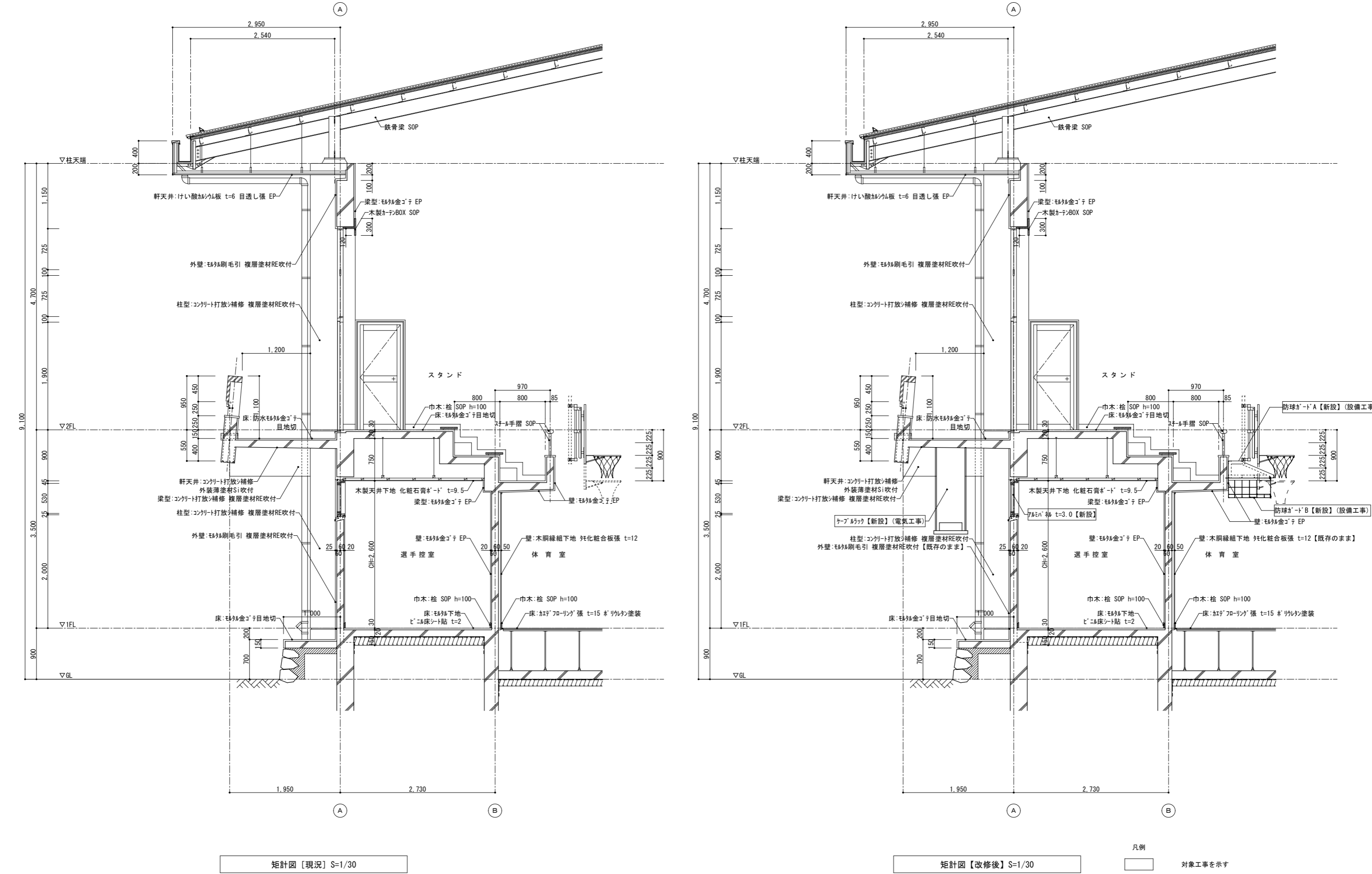
小龜

令和7年度

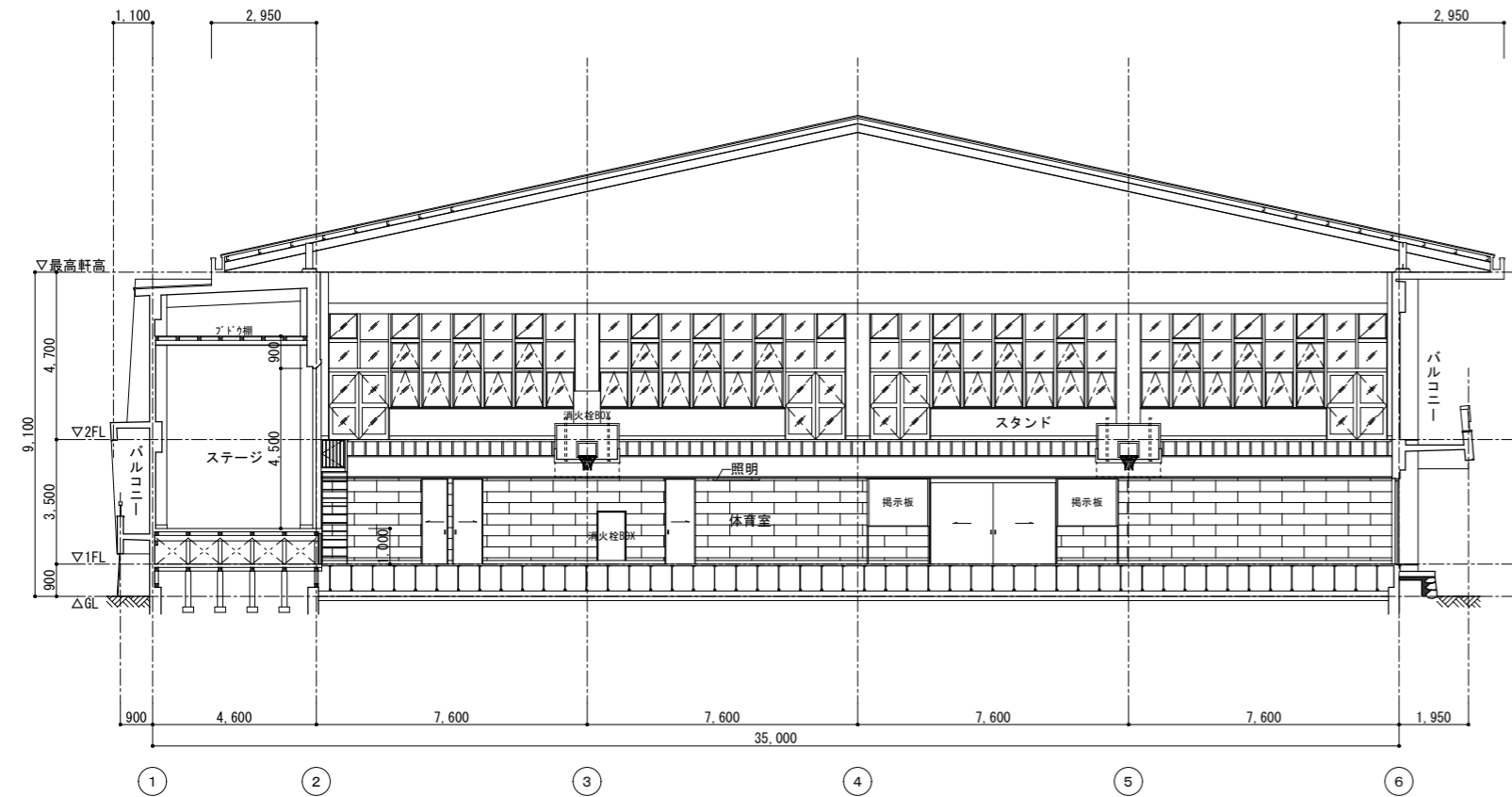
図面名称	2階平面図〔現況〕
------	-----------

縮尺	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)
----	------------------------------

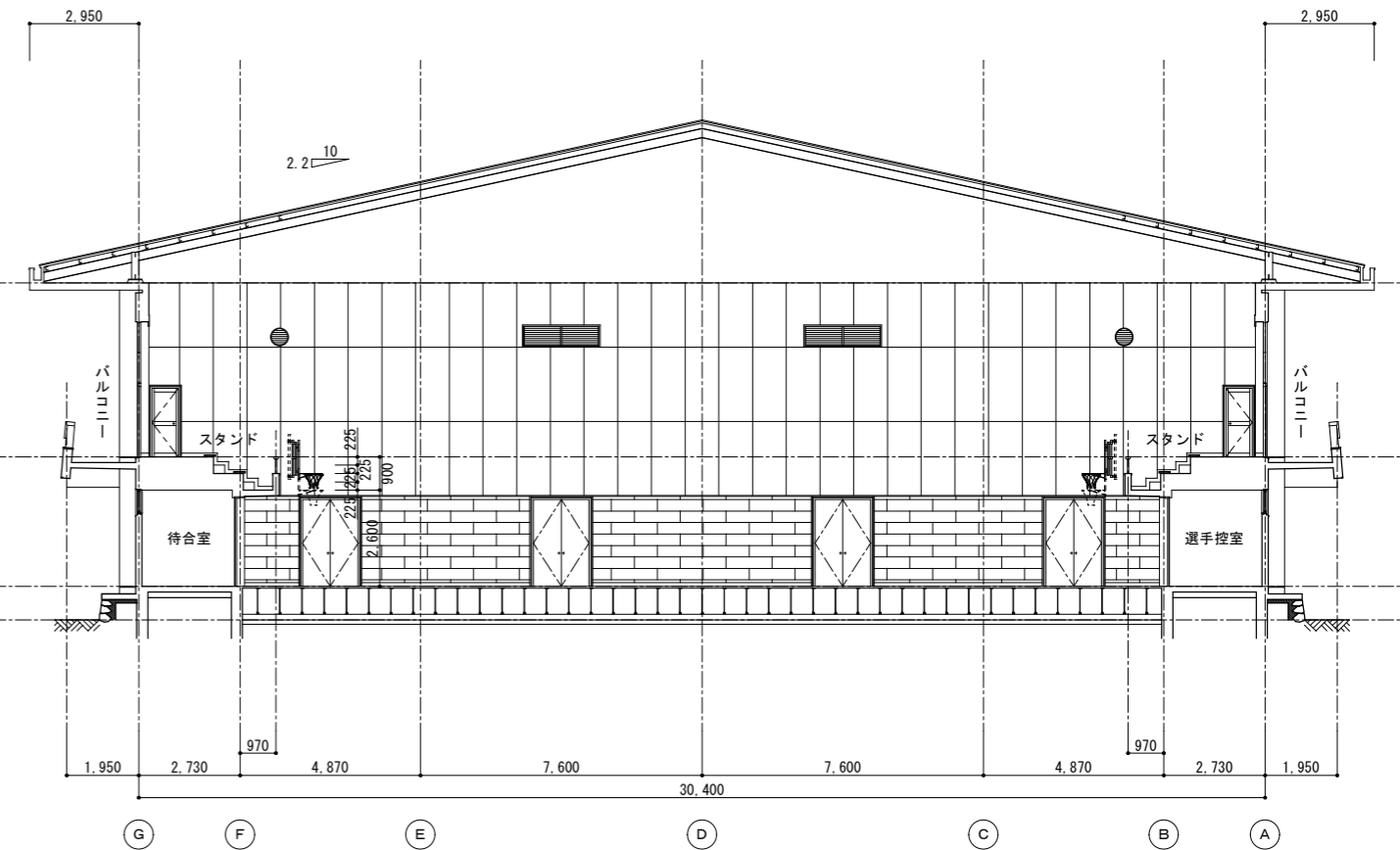
A-10



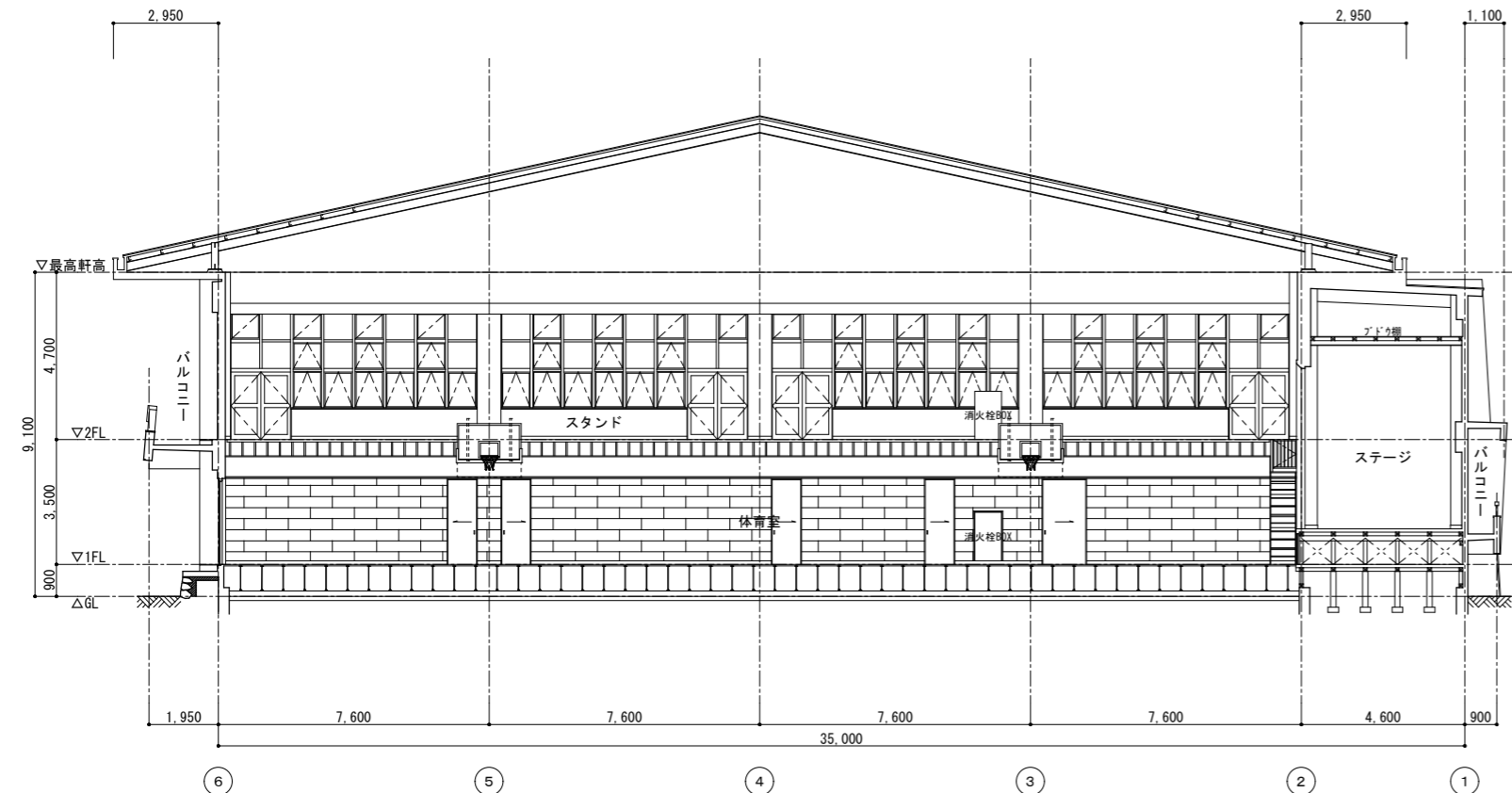
備 考						[株]新日本設計				所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号
						一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)				松崎	藤村	小池	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	A-11
														図面名称	
														矩計図 [現況] ⇒ 【改修後】	
														縮尺	S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)



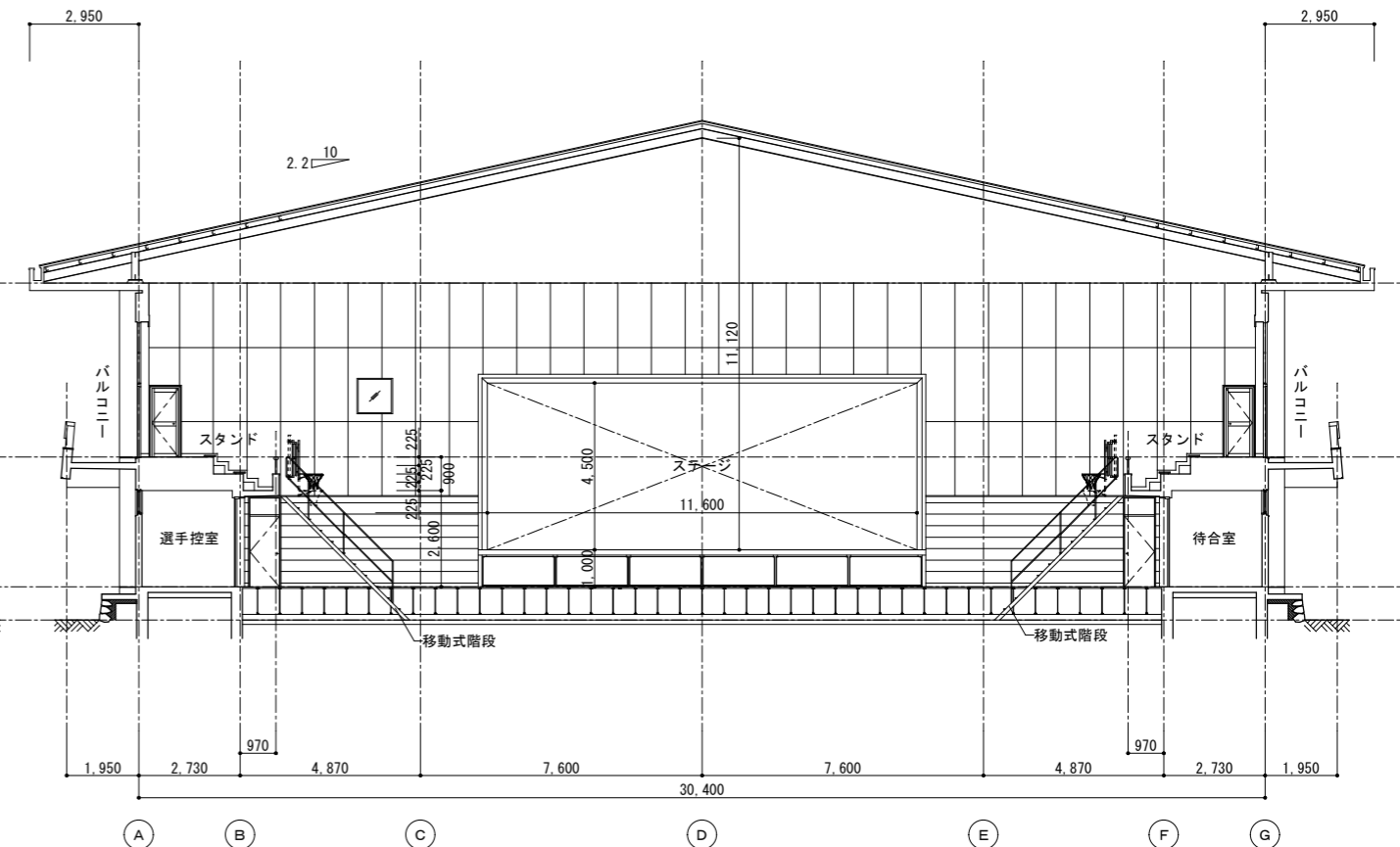
A (北)面展開図 [現況] S=1/100



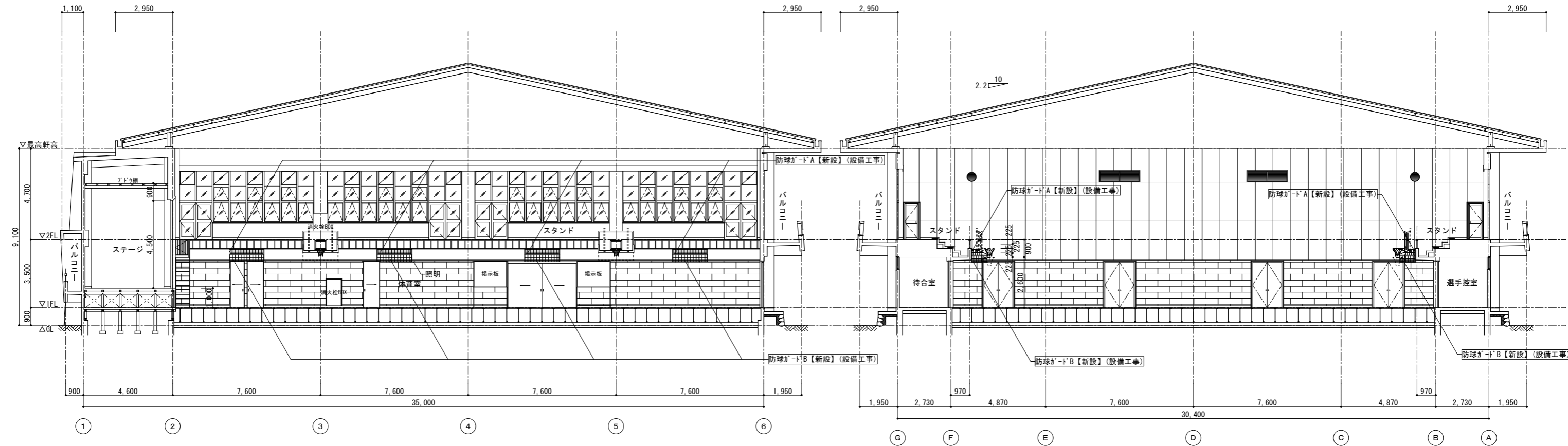
B (東)面展開図 [現況] S=1/100



C (南)面展開図 [現況] S=1/100

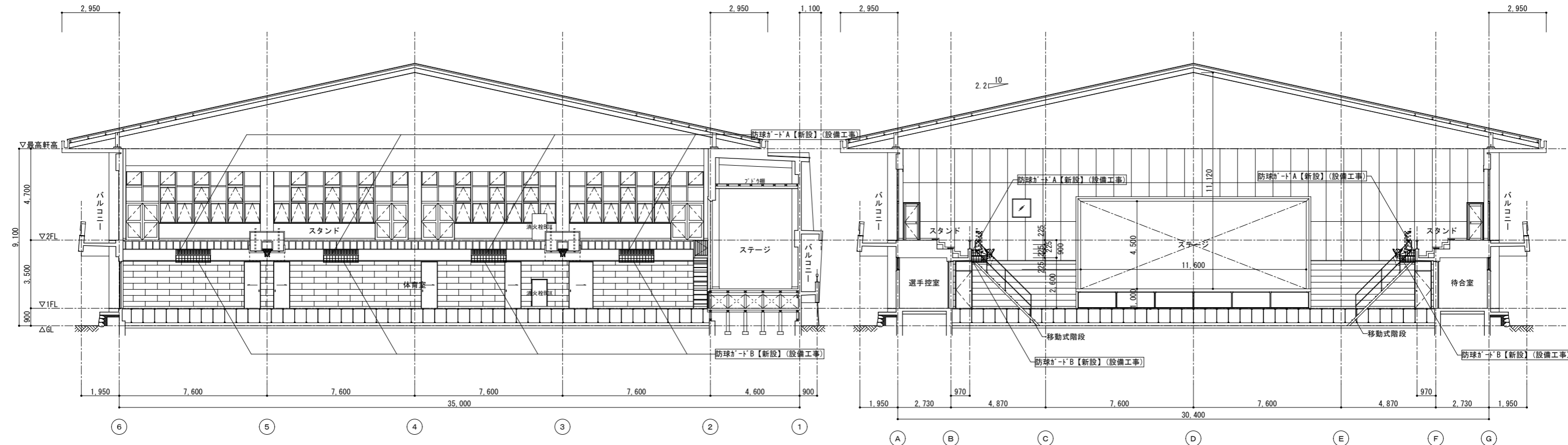


D (西)面展開図 [現況] S=1/100



A (北)面展開図【改修後】S=1/100

B (東)面展開図【改修後】S=1/100



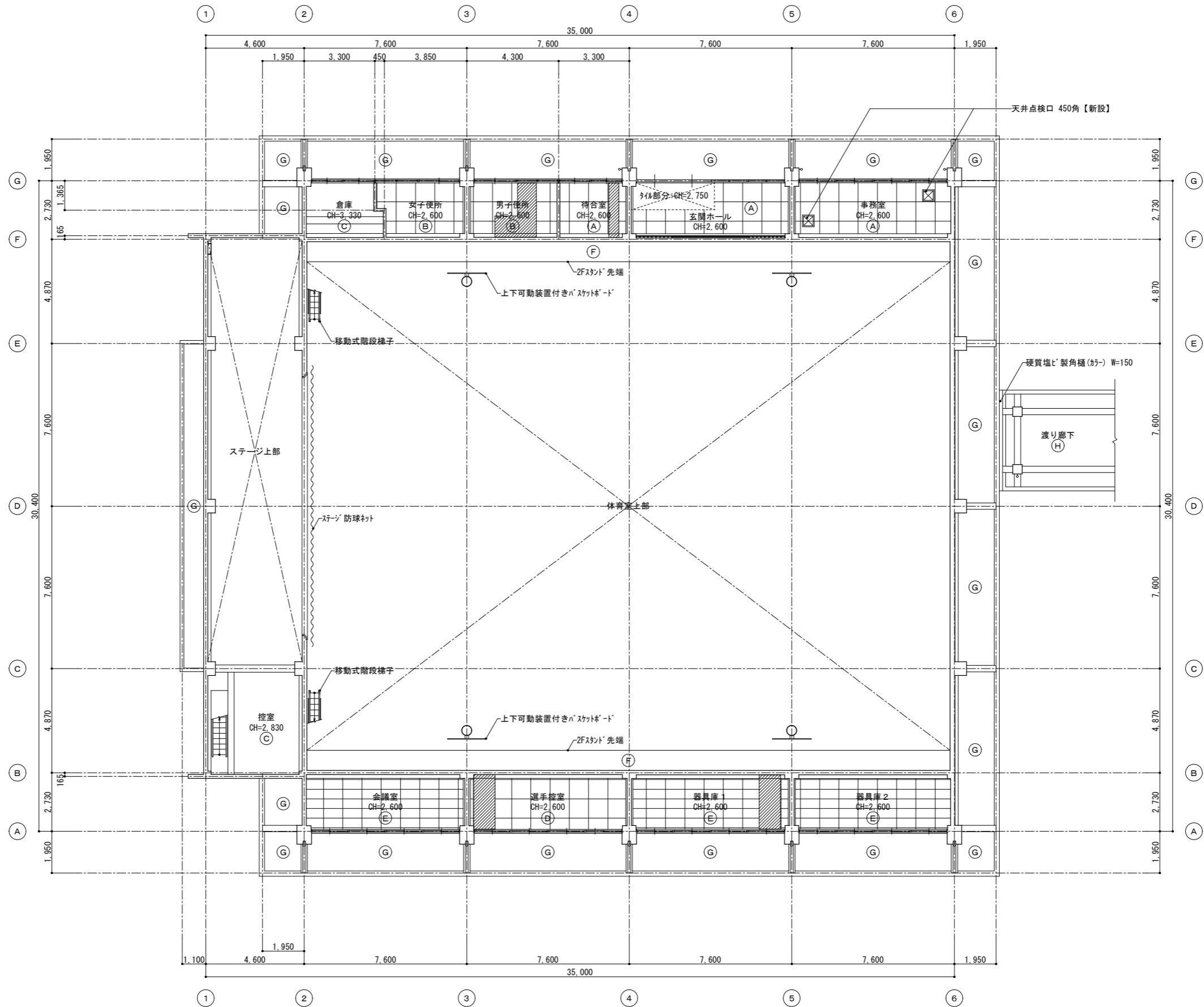
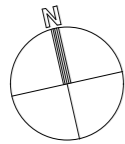
C (南)面展開図【改修後】S=1/100

D (西)面展開図【改修後】S=1/100

凡例
対象工事を示す

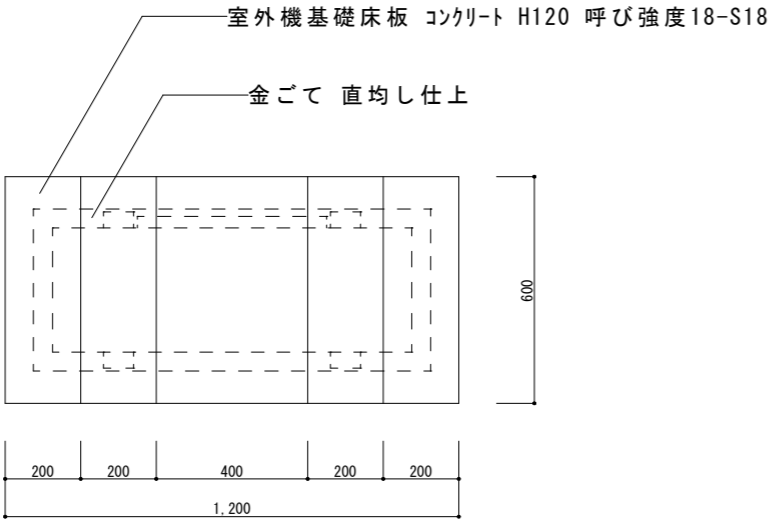
備 考						〔株〕新 日 本 設 計				所 長	設計本部長	設計 担当	設計 年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号
						一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)				松崎	藤村	小亀	令和7年度	図面名称 アリーナ展開図 [現況] ⇒ 【改修後】			A-13
														縮尺	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)		

【小鹿野中学校第一体育館】

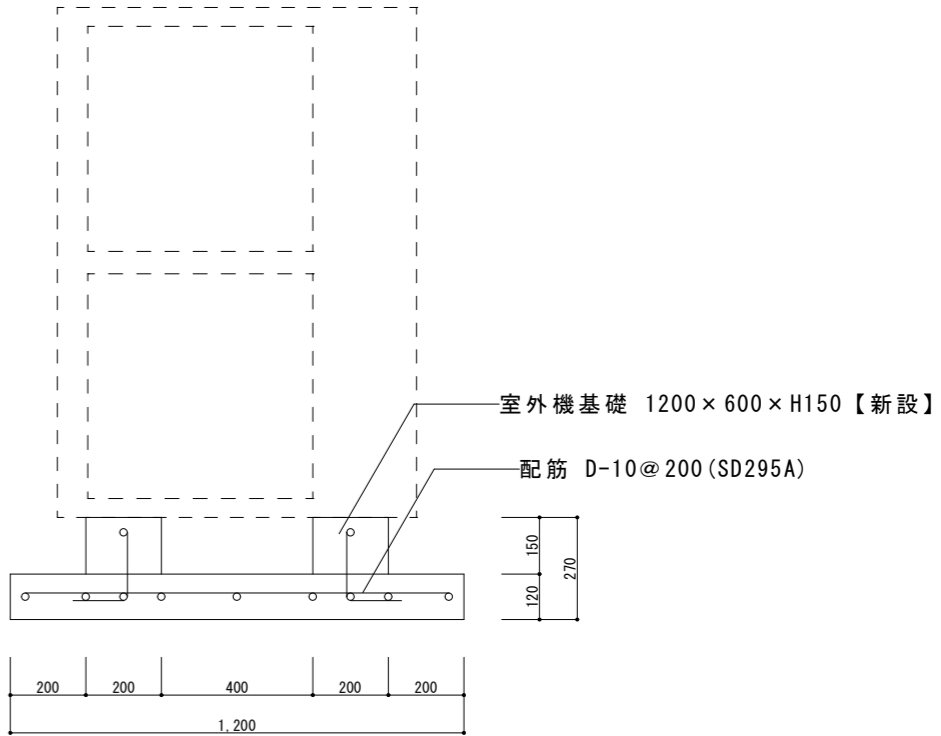


天井仕上表 [現況] ⇒ 【改修後】	
(A)	木製天井下地 化粧石膏ボード t=9.5 【一部撤去・一部新設】
(B)	木製天井下地 けい酸カルシウム板 t=5 目透し張 VE 【一部撤去・一部新設】
(C)	珪藻土刷毛引き 白セメント吹付 【既存のまま】
(D)	木製天井下地 化粧石膏ボード t=9.5 【一部撤去・一部新設】
(E)	木製天井下地 有孔石膏ボード t=9 目透し張 EP 【一部撤去・一部新設】
(F)	珪藻土金ゴテ EP 【既存のまま】
(G)	コンクリート打放し補修 外装薄塗材Si吹付 【既存のまま】
(H)	コンクリート打放し補修 EP 【既存のまま】
☒	天井点検口 450角 【既存のまま】
☒	天井点検口 450角 【新設】
廻縁	全て塩ビ製 【既存のまま】
斜線	仕上材改修範囲を示す (LGS下地はそのまま、廻縁を含む)

1 階天井伏図 [現況] ⇒ 【改修後】 S=1/100



室外機基礎平面図(参考図) 1/20



室外機基礎立面図(参考図) 1/20